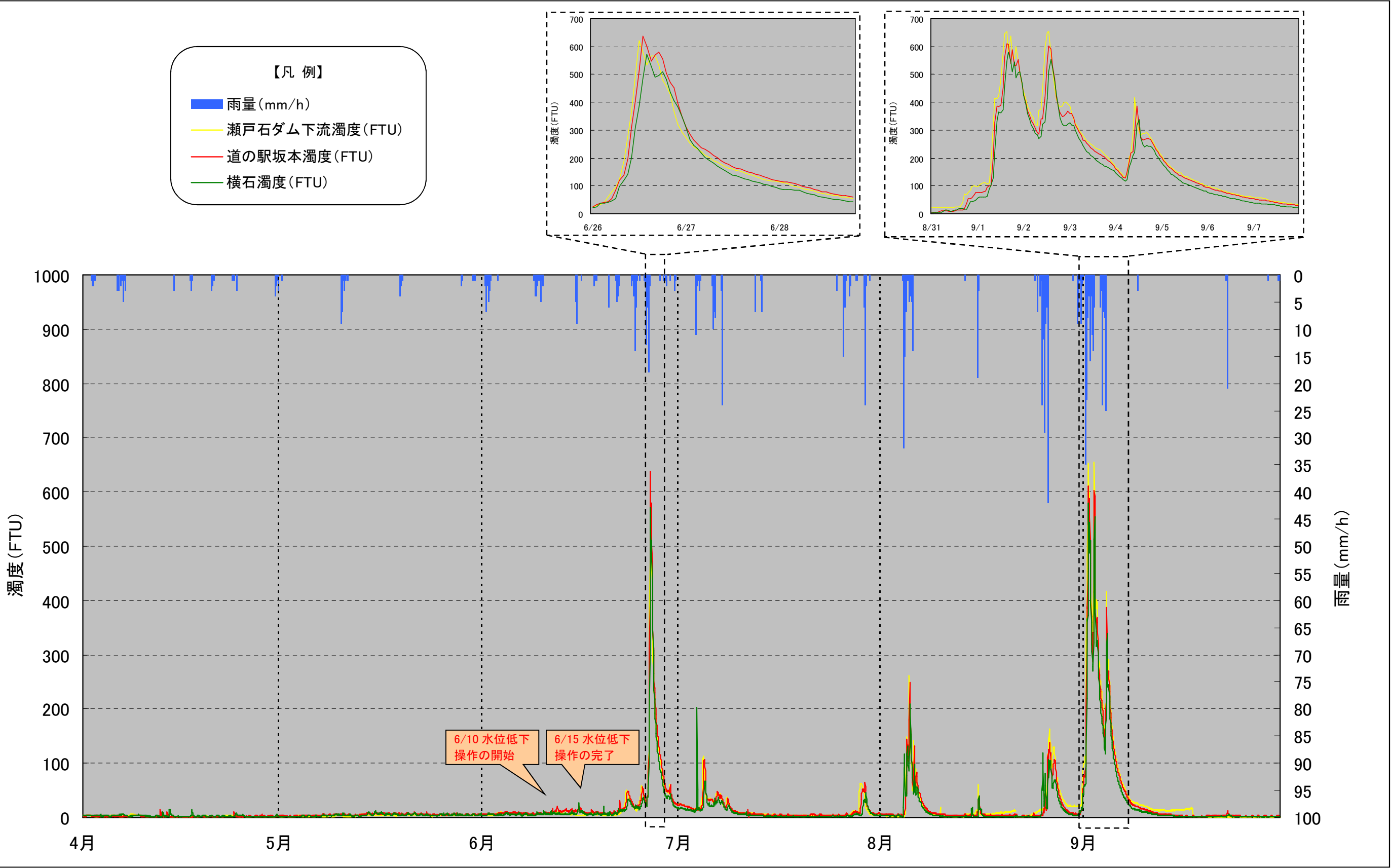


6) 水質（常時観測：出水時）

【参考資料 I - 64 頁参照】

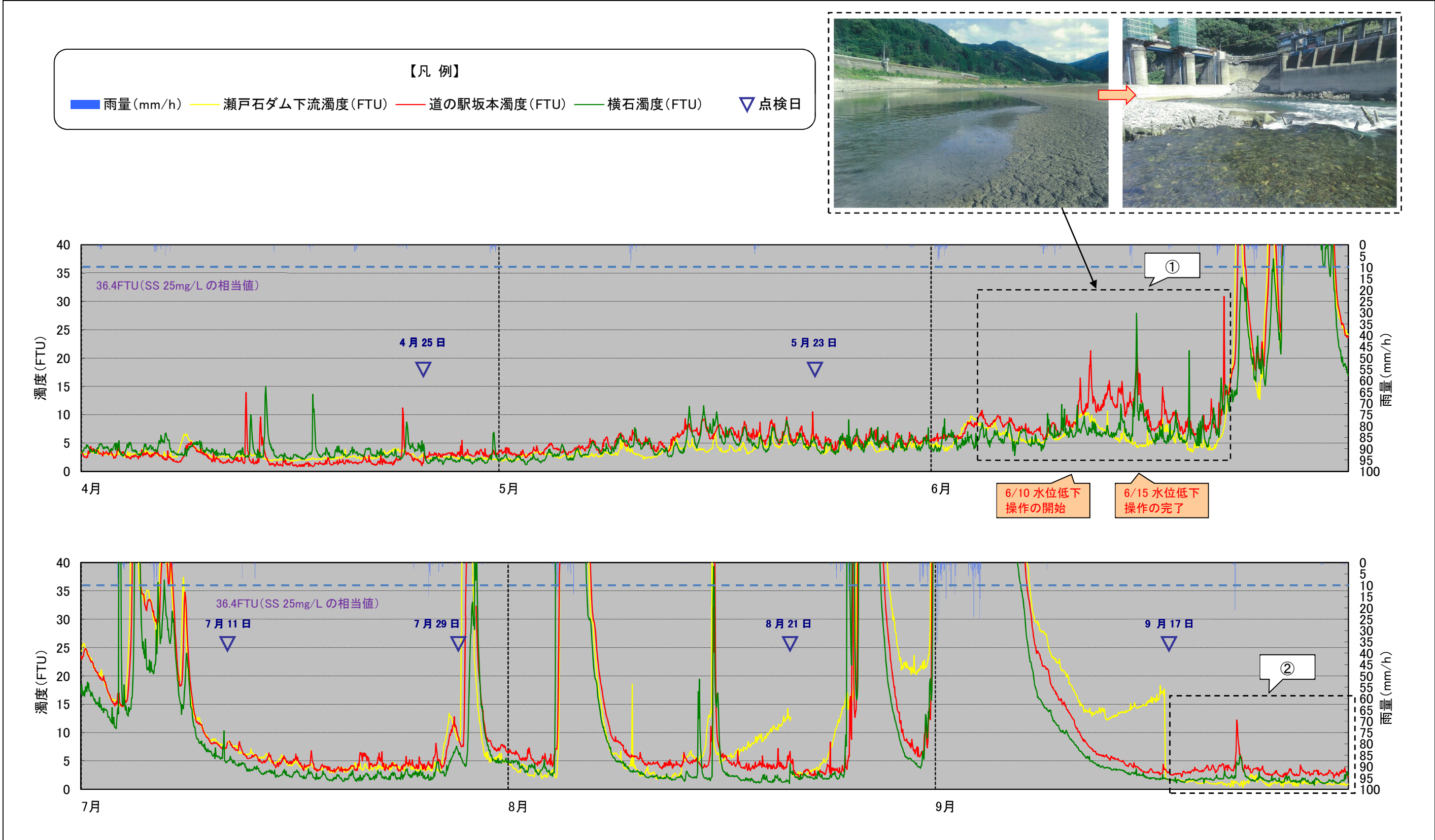
評価項目	視点	平成 25 年度(出水期)の調査結果概要	評価概要
平成 25 年度の出水時濁度の状況	出水時の濁度の時間変化 (自動観測)	・ 出水時の瀬戸石ダム下流（荒瀬ダム貯水池への流入水）と道の駅坂本（荒瀬ダム直下流）と横石の濁度の関係に着目し整理したが、 <u>同じような挙動を示している。</u>	・ <u>荒瀬ダム貯水池の堆積土砂の影響（荒瀬ダム下流の濁り）は特に見られなかったと</u> 考えられる。



6) 水質（常時観測：平水時）

【参考資料 I - 64 頁参照】

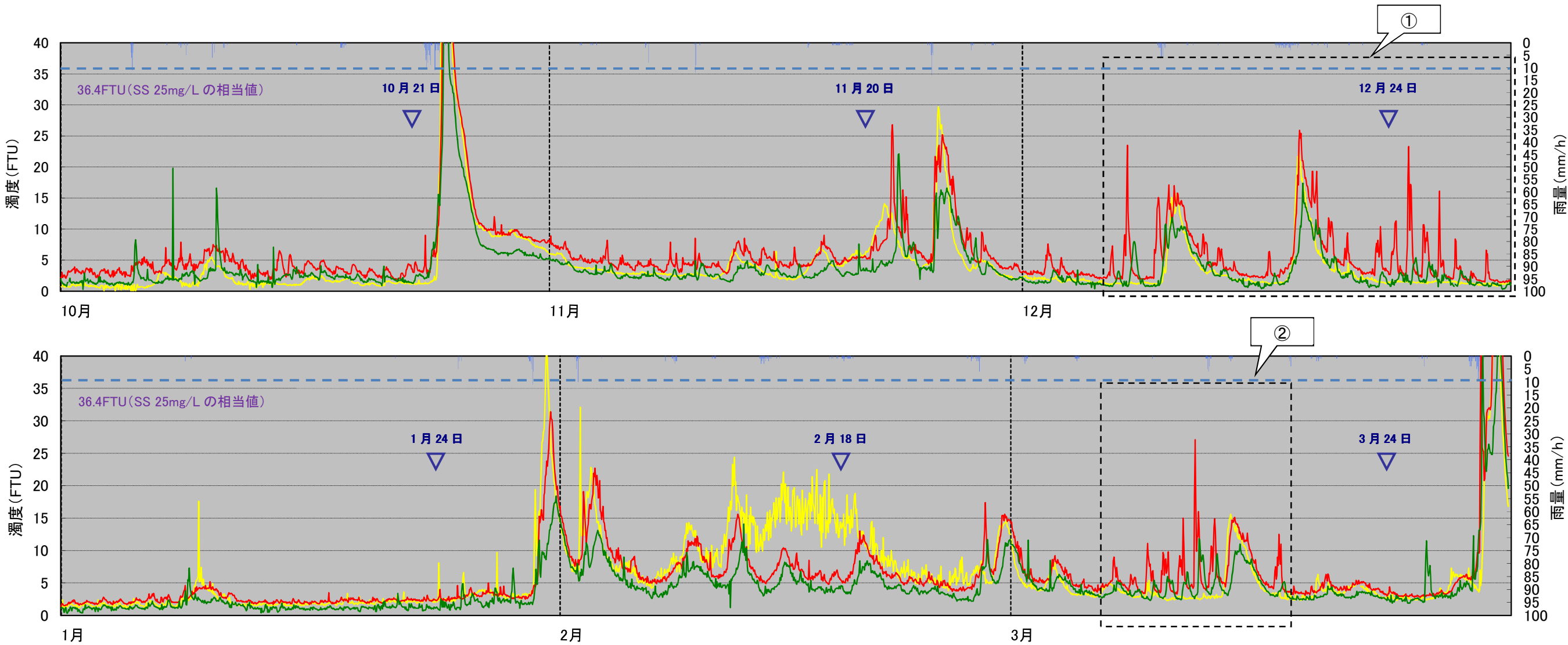
評価項目	視点	平成 25 年度前期 (4～9 月) の調査結果概要	評価概要
平成 25 年度の平水時濁度の状況	平水時の濁度の時間変化 (自動観測)	6 月中旬付近及び 9 月下旬において、瀬戸石ダム下流より道の駅坂本の方が高い期間があった（下図の①及び②）。 ①は水位低下操作の影響、②は葉木橋左岸の崩壊による影響と思われる。	水位低下操作等の影響で高くなっている期間があるが、<u>低い濁度 (SS25mg/L の濁度換算値は 36.4FTU) であり、荒瀬ダム下流の環境に対して大きな影響はなかったと思われる。</u>



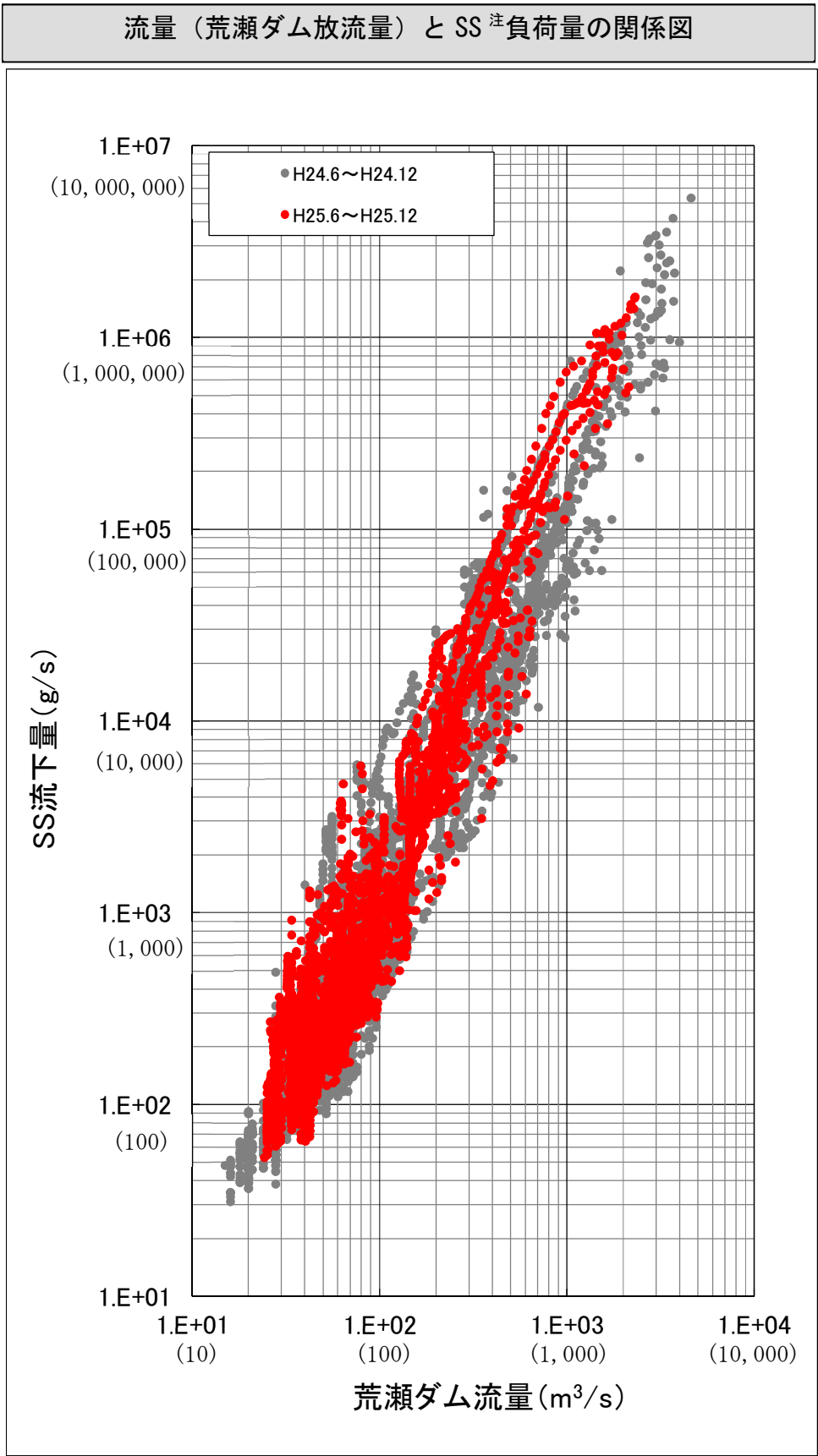
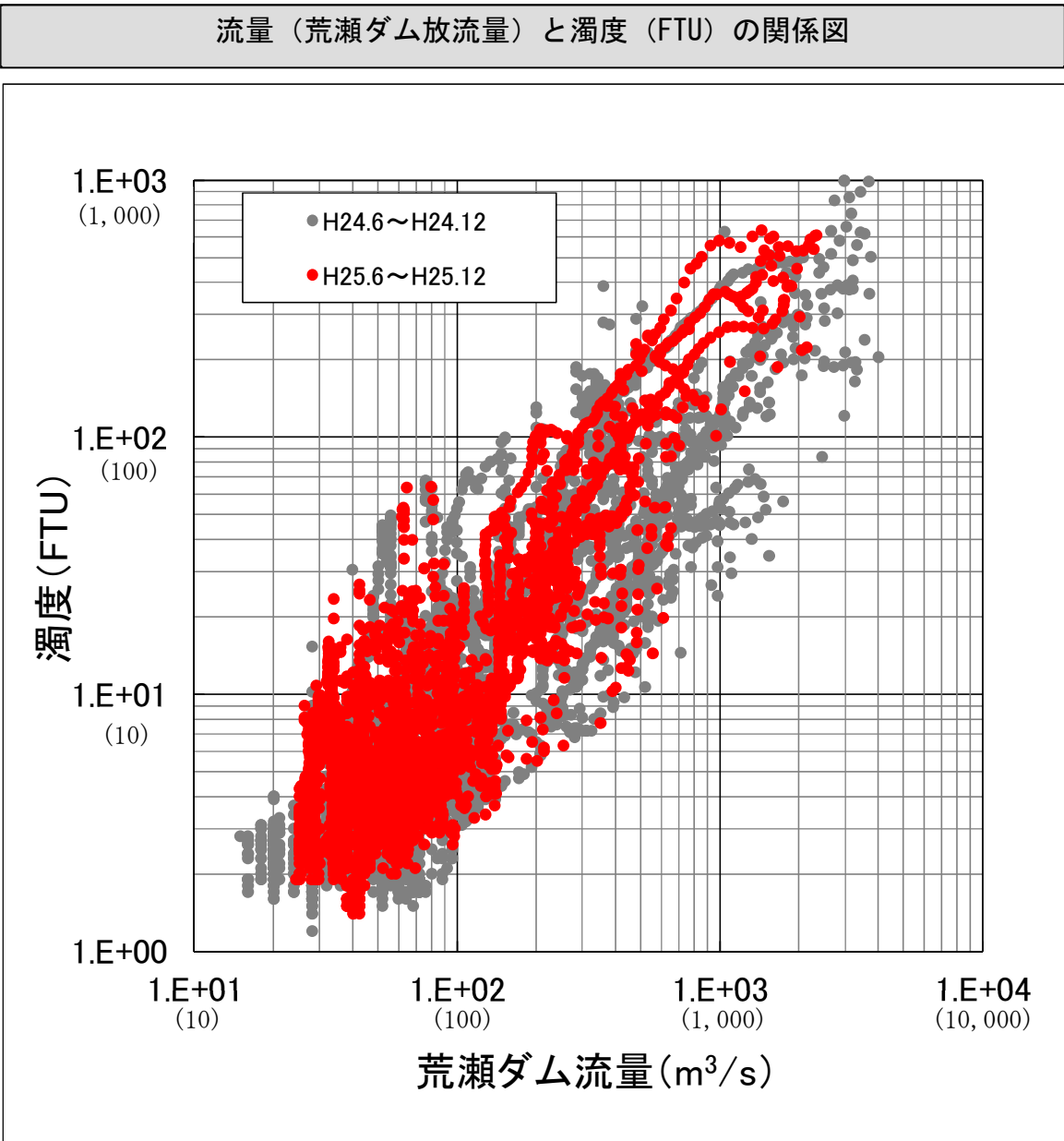
評価項目	視点	平成 25 年度後期(10～3 月)の調査結果概要	評価概要
平成 25 年度の平水時濁度の状況	平水時の濁度の時間変化 (自動観測)	12 月及び 3 月中旬において、瀬戸石ダム下流より道の駅坂本の方が突発的に高い時期が連続して発生した(下図の①及び②)。 - 佐瀬野地区の土砂除去工事及び荒瀬ダムの作業ヤード造成工事等による影響と思われる。	荒瀬ダム直上流での土砂除去工事等の影響で高くなっている期間があるが、<u>低い濁度(SS25mg/L の濁度換算値は 36.4FTU)であり、荒瀬ダム下流の環境に対して大きな影響はなかったと思われる。</u>

【凡 例】

■ 雨量(mm/h) ■ 瀬戸石ダム下流濁度(FTU) ■ 道の駅坂本濁度(FTU) ■ 横石濁度(FTU) ▼ 点検日



視点	平成 25 年度の調査結果概要
流量と濁り（濁度、SS）の相関性	・ 全体的には、平成 25 年の濁度及び SS 負荷量の分布は、平成 24 年の分布範囲内にほぼ収まっており、 <u>大きな変化は見られなかった</u> 。



注：濁度から SS への換算は、回帰式①を用いている。（説明資料 P11 参照）